

7月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 7 月 7 日	実施区間	17.0km ~20.5km左岸

朝8時前、野球の審判団の姿が 河川敷公園、多彩に活用

7月7日の日曜日朝、暑さを避けるために、7時に家を出て、一路、矢作川に向かいました。渡橋から左岸に入り、美矢井橋方面に車を走らせました。美矢井橋付近には、岡崎市管轄の公園がいくつかあります。

朝早くから、人が集まっている公園があったので、駐車場に車を止め、様子を観察しました。まだ、8時にもなっていませんでしたが、よく見ると、どうも野球の審判員です。地域のボランティアの人々が、審判員として、裏方として、地域の行事の下支えをしているようです。

この辺りの岡崎側の河川敷は、様々な活動に利用されています。(左岸17.5Km付近)



① 河川敷グラウンドに集う、野球の審判団

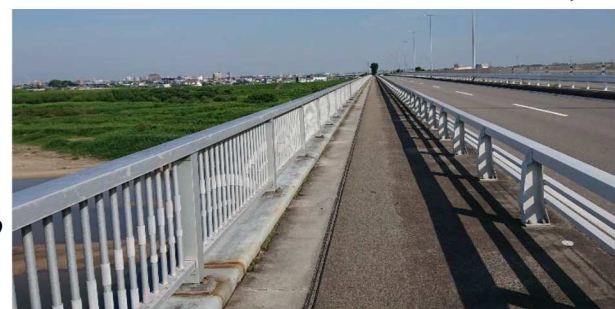


② うっそうと茂る河川敷の竹林(18.6Km)

表情を変える渡橋下の矢作川 長く続く橋の歩道を歩く

安城市と岡崎市を結ぶ渡橋の歩道を歩いてみました。眼下の矢作川が、日々姿を変えているのが、よく分かります。この日は真下に大きな三角形の砂浜が形成されていました。

川の流れの速さや水量によって形成される自然の造形物は、見ていて飽きません。梅雨明けは、もうすぐです。8月はどんな姿を見せてくれるでしょうか。



③ 安城市と岡崎市を結ぶ渡橋の歩道・自転車道。



④ 渡橋の上から矢作川を見下ろすと、砂浜の形状が、日々変わっているのがよく分かる。この日は三角形になっていた。



⑤ あちこちに姿を現す中州(渡橋の橋上から)